

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 大規模時変ネットワークの動的スパースモデリング
2. 個人研究者名
池田 卓矢（北九州市立大学国際環境工学部 講師）
3. 事後評価結果

本研究は、研究者が以前に行った制御理論分野にけるスパースモデリング応用であるところの動的スパースモデリングの研究成果を踏まえ、これをさらに発展させてネットワーク制御への応用を可能にすることを目標とした。

この研究は順調に進展して多数の優れた成果をあげた。これらの成果は最適解の性質の数理的な研究から、リアルタイム制御に必要な数値解法の提案まで、多岐にわたっている。

これら成果は学術的に高く評価され、*Automatica* や *IEEE Trans. Automatic Control* などのトップジャーナルの論文に結実している。また、制御理論分野のトップ会議 CDC での **Best Paper Award** も特筆すべき業績である。

本研究では、制御理論の確固たる理論体系を活用した理論的研究と、カーシェアリングや災害対応などの新規な応用の探索、以上 2 点の両立が図られており、この点も高く評価できる。今後、理論研究と具体的応用との間の互惠関係がさらに深まっていくことを大いに期待する。